

## さんよ奉賛第二回県下腕相撲大会

縣下第一の家腕  
今井君優勝  
少年の部は山崎君

さんよ奉賛第二回  
県下腕相撲大会は  
三月二日夜六時より  
柏崎市常福寺に

於いて県下各地より一般二十三名、  
少年十六名参加し

て白熱戦を展開し

今井信義君(柏崎

本三)が優勝、少

年の部では山崎政之君(柏

崎第二中)が制勝した。尚

前座試合には幼童、小学生

四、五十名が参加して大に

ぎわいを呈した。

少年(中學)の部

河合博夫(三中)山崎政之

(二中)今井庄吉(一中)阿

部敏夫(二中)田邊仁(三

中)櫻井正実(三中)笛川

昭清(一中)中沢総午(一

中)

第二回戦勝者

山崎政之(二中)阿部敏夫

(二中)田邊仁(三中)中澤

総午(一中)

準決勝

○山崎政之(二中)——阿部

坂田グラウンドのねし事

いつも菅笠を冠つて居て、

無用の者が侵入したり、下

駄を履いて入ろうものなら

誰か彼の用捨なく叱つた

ものだ。從つて「笠が怒る、

笠が怒る」と云つて笑われ

たりにくまれたりした。す

ぐ隣りの柏中の先生方(生

徒は勿論のこと)で彼に叱

られない者は無い位だつた

だから教務室では彼の事

を、四郎野郎(と呼んで

居たその部である。彼を愛

してゐる柏中數學教師上野

勝治先生が、堪り兼ねては

忠告して呉れるのだが、「

評判が悪かろうが、にくま

れようが元よりの覺悟だ、

暗うちでも何でも來い。ゲ

ランドの爲なら殺されても

最初は知らぬから、下駄を

履いてのこ／＼入り込む。

忽ち大喝一聲

「下駄を脱げ」

と怒鳴つてしまふ。次の

日から草履を履いて来るの

功労者の飯塚知信さんが始

業學年のシーズンも終つて

シンドのコンデショニングや、

年間の穴だらけのフ

か多數参

加を要望

ている。

申込メモ 四月十一日

12月15、16、17、全日本

権福山市

会が開催される。

本大会の過去の成績は、

申込場所 体連盟事務局又

東、新潟県協会の本年度行

事計画が発表された。

1月31、2月4日、全

生選手権大會、東京

校選手権大會、横濱高

校選手権大會、長野高

